

窯焚

最近は窯を焚いてから、蓋をするまでの時間が徐々に長くなってきていました。時間が長い方がいい炭になると聞いていたので、同じようなやり方を続けていました。ところが、今度は時間が長くなり過ぎて炭の堅さがなくなっていることに気がつきました。そこで師匠からアドバイスを頂き、窯焚のやり方を少し変えたら、蓋をするまでの時間が短くなりました。しかしまだ長い時もあります。

窯焚きは状況によって毎回変化しますが、どういう時にどれくらいの時間がいいのか、またそのタイミングをどのように狙うのかといったことがこれからずっと続く課題だと思えます。



窯焚きの様子

牧田地区文化祭と公民館講座



牧田地区文化祭と息子のお茶出しの様子

11月16日(土)に息子が参加している公民館講座の「子どもお茶教室」の付き添いとして初めて牧田地区の文化祭に行きました。牧田地区は時山から遠く、あまり遊びに行ったことがありませんでした。知らない方も多かったのですが、みなさんに親切にして頂きました。

息子がお茶出しに行く姿は、緊張した顔つきでしたが、とても楽しそうに進んで手伝いをしている様子に成長を感じました。お茶の他にも、「牧田川わくわく体験・遊び」の公民館講座にも出席しており、上石津町の公民館講座はとても興味深いものがたくさんあるなあと感じています。

鍼灸師としての雑感 ~天地人三才思想~

圖之三才



天地人三才の図

東洋医学の考え方に陰陽五行論以外に、もう一つ天地人三才思想があります。天の気(空気)と、地の気(食べ物)で人は成り立っているという考え方ですね。

気(天)・血(地)・津液(「水」という意味・人)と分ける考え方や、病の場所を上中下、内中外で分けて考えることもあります。三才思想に多く影響を与えたものが脈診で、脈を診ることで五臓の状態を診察するものです。私は脈診に強くはなく、参考に確認するくらいです。

実はこの通信も天(与えられたミッション)と地(時地区や上石津のこと)と人(私個人の考え)と3つに分けて作っているのでした(笑)。